

各位

2022年2月22日

東京産業株式会社

革新的連続生産システム「iFactory®」

第4回 日本オープンイノベーション大賞「経済産業大臣賞」受賞のお知らせ

この度、当社が参画しております株式会社 iFactory（代表取締役 齊藤隆夫氏）が開発・普及・販売を目指す革新的連続生産システム「iFactory®」が第4回 日本オープンイノベーション大賞「経済産業大臣賞」を受賞したのでお知らせいたします。

日本オープンイノベーション大賞は科学技術イノベーション創出に係る活動において、ロールモデルとなる先導的又は独創的な取り組みを表彰するもので、今回は異業種14社1機関の連携により革新的連続生産システム「iFactory®」を開発したことが評価されました。

従来のバッチ方式から iFactory®による連続生産に転換することで、機能性化学製品製造において消費電力、廃棄物および CO2 排出量の削減を実現します。iFactory®の普及により2030年に121.9万トンのCO2削減を目指すとともに、日本の産業競争力強化に貢献いたします。

当社は今後とも「iFactory®」をはじめとする省エネルギー機器の販売・普及に積極的に取り組み、環境ビジネスをさらに推し進め、持続可能な社会に貢献してまいります。

本件に関するお問合せ先：

東京産業株式会社 東海支店機械部 052（589）1770

齊藤 隆夫 ((株)高砂ケミカル会長／(株)iFactory代表取締役)、鶴本 穰治 ((株)高砂ケミカル 技術開発部 iFactory 準備室専任課長)、池谷 勝俊 (テックプロジェクトサービス(株)プロジェクト工事統括本部医薬ファインプロジェクト部副部長)、佐藤 正浩 (大成建設(株)エンジニアリング本部ファインケミカルプロジェクト部部長)、甲村 長利 ((国研)産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センターフロー化学チーム)

概要

機能性化学品(医薬原体等)を持続的に供給可能な産業構造に変革すべく、省エネ・省人型革新的連続生産システムの開発、普及、販売を目指す。

目的

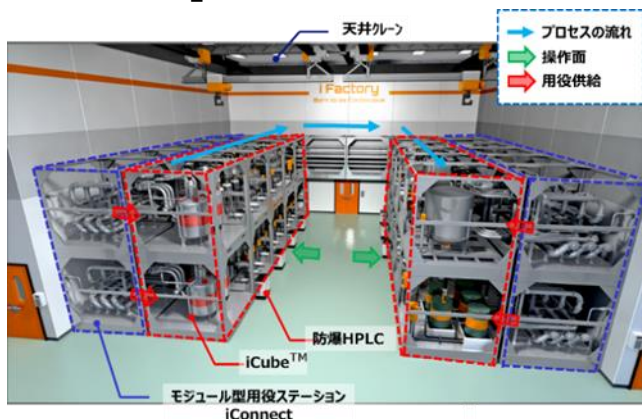
機能性化学品製造に使用する電力や廃棄物の削減や地震や水害等の自然災害による生産停止の回避による気候変動への対応やパンデミック等を考慮した急激な製品需要変動への対応、超高齢化社会への対応、機能性化学品製造産業の国際競争力強化等を図る。

内容

来る脱炭素、超高齢化社会において機能性化学品(医薬原体等)を持続的に供給可能な産業構造に変革すべく、異業種14社1機関が連携して、機能性化学品を対象とした省エネ・省人型革新的連続生産システム「iFactory(下図)」の開発を行った。事業化に向け、事業会社(株)iFactoryを設立済。

効果

機能性化学製品製造において、従来のバッチ生産から「iFactory」による連続生産に転換することで消費電力削減により43.9万トン(2030年時CO₂換算)、廃棄物削減により78万トン(同)のCO₂削減効果が期待できる。2023年3月からの販売開始を目指す。



ココが、ポイント!

異業種14社1機関の連携により革新的連続生産システム「iFactory®」を開発。多岐にわたる専門技術の集約を行い、脱炭素対応や日本の産業競争力の強化に期待ができる取組である。